

「鬼は外！福は内！」と、元気なかけ声が園庭に響き渡りました～年少うめ組・年中組の「豆まき」の様子を！～ 《NO.2》

「豆入れ」は、先生方が作ったバックに目を描いたり、色画用紙に描いたツノをハサミで切り取ってバックにつけたりして作りました。髪の毛の部分は自分たちでハサミを使い切れ込みを入れました。みんなで楽しくできた「お面の製作活動」。出来上がった作品を見て、大喜びの子ども達でした。



年中組の「お面」は、赤・青・黄の色画用紙の中から1枚を選び、顔の形を切り取った後、絵の具を使って「デカルコマニー（紙を半分に折り、絵の具を転写させる方法）」をしました。絵の具を塗って画用紙を合わせ、それを広げると同じ模様が広げた方にも写っているのを見て「おお～！」と喜ぶ子ども達。目や口、ツノなどのパーツは保育参観で保護者の方と一緒に製作を行い可愛らしく仕上げることができました。「豆入れ」は、紙コップに折り紙をちぎって貼り、顔、ツノ、手、金棒はハサミで切って糊で貼りました。細々した難しい作業を楽々となす子ども達を見てスゴイと感じました♡



「豆まき」の始まりです。どこから鬼が来るのか、豆を手に構えている子ども達。すると、突然「鬼の会話」が聞こえてきました。声の方を見てみると2階に鬼が現れ、園庭に向かって下りてきます。これには子ども達もビックリ！鬼が子ども達めがけて走り寄ってきました。鬼の「ウソをつく子はいないか！」という怖い声にビビりまくる子ども達。怖さのあまり先生に抱きつく子も。しかし、先生方の「鬼は外」のかけ声で逆襲の始まりです。持っている豆を鬼めがけて投げつけます。これには鬼も思わず、「痛い！」の声。鬼も少しずつ弱っているようです。最後は多勢に無勢、子どもたちの勝利でした。



※ 年少・つぼみ組の子の中には、「大きくて怖かった。追いかけて嫌だった！」という子も。でも、年長クラスの女兒は「鬼は怖くなかった。上手く豆を投げられて楽しかった」と笑顔を見せて話してくれました(^_^)

